

ARC Jetanizer™ Shimadzu2030用据付けマニュアル

クイックスタートガイド

1. Jetanizer を通常の FID ジェットのように取り付けます（締めすぎないでください）。
2. 35 sccm の水素で 400 ° C で操作します。

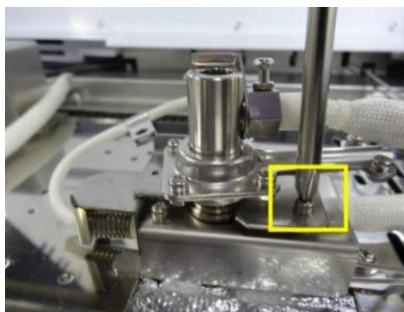
取付け方法

1. オープンの温度を35° Cに設定し、35° Cに冷えるのを待ちます。次にオープンを「オフ」に設定します。
2. FID炎とFID温度を「オフ」に設定します。
3. FID温度が50° C未満に下がるのを待ちます。
4. すべてのFIDフロー（空気、水素、およびメイクアップ）を「オフ」に設定します。
5. 本体の電源を切ります。電源ボタンは点灯しないでください。
6. カラムが取り付けられている場合は、それをFIDから取り外します。
7. INJ/DET カバーを開いて FID アセンブリの作業をおこないます。
8. FID を分解します。適切に行うために、島津製作所のマニュアルの正確な指示に従ってください。（簡単な手順を下記に記します。）

- a) 高電圧ケーブルクランプを固定しているネジを外し、クランプを取り外します



- b) コレクタを固定する金具に隣接するネジを緩めますが、取り外さないでください。



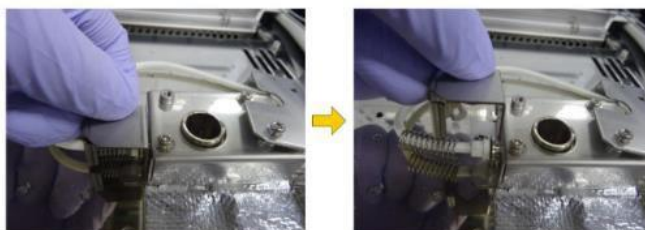
- c) コレクタ ハードウェアを時計回りにスライドさせ、持ち上げてコレクタを取り外します。



d) 信号コードのコネクタを外します。



e) 板金を持ち上げて、高電圧電極を取り外します。



f) 高電圧ケーブルを取り外したら、既存の FID ジェットを深さ 8 mm の六角ナット ドライバーで緩め、ピンセットを使用してこの FID ジェットを取り外します。



注: クォーツ部分が損傷するため、ジェットに衝撃力を加えないでください。

注: ジェットを取り外した後、FID アセンブリに破片がないか調べます。必要に応じて、圧縮空気を 사용하여清掃してください。

9. Jetanizer を取り付け、六角ナット ドライバーを使用し手で締めます。しっかりと固定されるまで締めます。
注: Agilent GC用 Jetanizer をインストールしないでください。信号に必要な適切な回路が完成しません。
注: FID アセンブリで適切に密閉するため、新しい Jetanizer のみを取り付けます。以前に使用された Jetanizer をインストールしないでください。
警告: 締めすぎると、Jetanizer または FID アセンブリが損傷する可能性があります。
10. 残りの部品を再び取り付け、INJ/DET カバーを閉じます。

11. Jetanizer の高い動作温度に耐えるのはグラファイトフェラルのみであるため、グラファイトフェラルを使用してカラムを FID に再度取り付けます。グラファイトフェラルは、グラファイト FID ジグ (P/N S221-41532-04) を使用せずに固定する必要があります。キャピラリーカラムの挿入長は約 32 mm です。ジグを使用すると、72 mm という誤ったサイズになります。
ヒント: 一般的な治具を使用しない手順を使用して、FID 自体にフェラルを接続する必要があります。
12. カラムヘッド圧力をオンにします。FID の出口に直接接続された気泡流量計または電子流量計を使用してカラム流量を測定し、必要に応じてカラムヘッド圧力を調整して、目的のカラム流量にします。FID での測定用に密閉するため、Shimadzu FID フロー測定ジグ (P/N S221-81209) の使用をお勧めします。
13. FID 水素セットポイントを 40 sccm に設定します。
14. FID を 450 ° C で 1 時間加熱して Jetanizer を焼き出します。
注: FID が GC-2030、FID-2030 モデルである場合は、450 ° C でのみ焼きだします。その他の GC タイプについては、ケン商品開発へお問合せ下さい。
15. Jetanizer の温度を 400 ° C の動作温度に設定します。
16. FID を冷却し、FID の出口でトータルカラムと水素流量を測定します。
総測定流量からカラム流量を差し引いた水素流量を計算します。必要に応じて水素設定値を増減して、実際の水素流量を 35 sccm にします。
 1. FID エア セットポイントを 350 sccm に設定します。
 2. FID メイクアップ ガス セットポイントを 5 sccm に設定します。
 3. FID 炎を「オン」に設定します。GC が「FID ignited」または「FID Lit」を表示するまで待ちます。

操作方法

1. キャリアガスとFID用水素を流さずにJetanizer™を加熱することは避けてください。
2. Jetanizer™を35sccmの水素 (FIDから直接測定)、350 sccmのエア、および5sccmのメイクアップガスを使用してFID温度400° Cで操作します。
3. Jetanizer™を長期間使用しない場合は、FID炎をオフにし、水素流量を5 sccmに設定して、FID用エアをオフにします。
4. FID温度の過度のサイクルを避けて、密閉面の早期故障を防ぎます。
5. Jetanizer™の寿命を延ばすために、高分子量の炭化水素、アルキン、硫黄含有分子など、COおよびCO2以外の大量の分子にさらさないようにしてください。

以上